

探訪 チャレンジ企業 47

新たな出会いが夢を育み
生きがいを共感できる
アークスペース：野々市町

一 夢をはぐくむ創造空間
—アークスペースの誕生—

野々市町の中心部横宮町、V10(旧ジャスコ)や福井銀行、北國銀行などに囲まれた一画に、三階建ての真っ白な建物がそそり立つ。広い階段式のホールを備え、大きな吹抜空間を設けた総建坪三〇〇坪の白亜の殿堂「アークスペース」である。

大きなガラス窓越しにやわらかな光線が射し込むティールラウンジを兼ねたエントランスを通り抜けると、眼前に十数種の樹々を配した地下庭園を背景にして、ポストン社製のグラランドピアノを備え付けた階段式のホールが広がる。二階には吹抜け



アークスペース

に面して二つの洋室が配置され、三階には和室とレセプションルーム、カルチャールームと名付けられた二つの洋室が並ぶ。更に屋上(三階)には和洋折衷の庭園も設置されていて「眺望の雄大さ」と同時に「庭園の繊細さ」も満喫することができる。

洗練された理念に基づいて設計された空間は機能的であると同時に、見事な一体感も保ち、まさに「夢を創り出す空間」にふさわしい。野々市の地に「新名所が誕生した」と表現しても過言ではないだろう。

二 確固とした価値観に基づいて 事業を立ち上げる 創業の経緯

この「空間」を運営するのは「株水口エンタープライズ」であり、代表者は「水口政尚氏」である。同氏はもと金属加工業の世界で大活躍していたが、かねてから「新たな出会いが夢を生む。その夢を育てていけば生きがい共感し合える」という理念を持ち、その実現を図ることによって文化的な創造事業に参画したいとの希望を持っていた。ア

ークスペースを建設することによって「夢の実現」は手の届くところまで来たのである。しかし、この後にソフト(利用技術)を開発し、顧客を開拓するという大きな仕事待ち構えている。「仏」は作ったが「魂」はこれから入れねばならないのである。その際には御仕着せのなメニューを排除して、「個性」を主張し合う利用者の直接のふれ合いから生まれてくる「何かを尊重する」という基本方針を貫くつもりである。その方法によって、顧客を開拓し事業の永続を図るという方向に進むことになる。

三 オリジナル ウェディングの提案 ソフト開発の一例

当アークスペースには、六つの空間(スペース)が存在する。これらの活用方法として、パンフレットには、コンサートギャラリー・パーティー・セミナー・イベント・レセプション・カルチャースクール・発表会・食事会・各種展示販売などを例示している。

確かにこれらのスペースは万能の用途を持っていて、どのような利用でもお望み次第だが、しかし事業として運用していくには、ハード(スペース)に

適合した優れたソフトを開発するとともに、その標準化を図る必要がある。

その第一号として提案されているのが、「スペース・ウェディング」である。従来型のホテルや式場での結婚式は「画一的すぎて面白味がない」という声に代えて開発されたシステムだが、当事者達の意向を最大限に尊重することを特徴とする。開発後、実際に模擬結婚式、模擬披露宴を行ってテストをしたところ、参加者から「すばらしい」という高い評価を得た。今後、演出・装飾・料理などに工夫をこらして改良していけば、「個性的な挙式」と言われる域にまで迫れるはずである。現代で最も尊重されるべき価値は「個性」だろうが、その価値を実現できるのだから「最高の結婚式」となるはずである。

この例を参考にして用途別に種々のシステムを開発していけば「当スペースの価値」も日毎に高まっていくことだろう。

四 課題

一 ビジネス基盤の確立

当スペースの運営をビジネスとして眺めたときに、開業以来日が浅いために当然のことではあるが、いくつかの課題が残る。

まず第一点は「知名度の低さ」である。野々市町の中心部に高級感のある施設を建設したにもかかわらず、「どこにあるのか」「何をするといいか」等



階段式ホール

について世間に充分に知れ渡っていないと言いき難い。新聞・雑誌・テレビ・口コミ・フリーペーパーなどを組み合わせ、コスト対効果を考えながらPRを図っていく必要があるだろう。次の課題は、利用希望者に利用方法についての提案を積極的に行っていくことである。当スペースの経営資源を総動員して、利用者に喜ばれるシステムを開発し、提案していく必要があるだろう。

第三点は「野々市の地から文化を発信する」という自覚と自信を持って大胆に活動していくことである。「新情報の発信基地」として、社会から認知されれば、営業面などにも好結果が反映されることはまちがいない。(お問い合わせ)

アークスペース

〒九二一ー八八一七
石川郡野々市町横宮一六一三
TEL 〇七六ー二九四ー七八七八
FAX 〇七六ー二九四ー〇五五五
URL <http://www.arkspace.jp>

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。